

SQL 応用 ～研修受講前テスト～

■問題 1 【SQL のコーディング】

可読性の向上について、以下の説明文から正しいものを2つ選んで下さい。

- オブジェクトの名前には、役割や格納されている値を判別できるような名にすべきである。
- コメントを挿入するとソースコードが増えて読み辛くなるため、使用すべきでない。
- 適時、改行と段落付けを行い、各処理内容を明確にする。
- 可読性向上のテクニックは、各開発担当者が独自に理解し、実践していればよい。
- 分からない。

■問題 2 【SQL のコーディング】

SQL のコーディングについて誤っているものを2つ選んで下さい。

- SQL がテキストレベルで同じであれば同一 SQL と見なされ、解析結果を再利用できる。
- 解析はデータベースに一定の負荷が掛かるため、解析結果を共有すればパフォーマンスを向上できる。
- 同じ結果が得られるのであれば、どのような記述してもパフォーマンスは同じである。
- 標準 SQL を使用する一番の目的は可読性向上のためである。
- 分からない。

■問題 3 【条件分岐】

CASE 式について正しいものを2つ選んで下さい。

- CASE 式は他の条件分岐関数と比べ、可読性という観点で劣る。
- 記述方法として、単純 CASE 式と検索 CASE 式の2つがある。
- ELSE 句では、CASE 式でエラーが発生した場合の対応方法を記述する。
- 最後に END 句を指定することで CASE 式は終了する。
- 分からない。

■問題 4 【条件分岐】

CASE 式以外の条件分岐について誤っているものを1つ選んで下さい。

- COALESCE 関数は、ゼロを NULL に置き換えできる関数である。
- NULLIF 関数を使用するとゼロ除算エラーを回避できる。
- MERGE 文は、条件に応じて UPDATE または INSERT を行える。
- COALESCE 関数は標準 SQL である。
- 分からない。

■問題 5 【値の集計・分析】

グループ化の処理として誤っているものを1つ選んで下さい。

- GROUP BY 句に CASE 式を組み合わせると、任意のグループに分けて集計処理が行える。
- SQL は集合指向という発想に基づいた言語である。
- HAVING 句では、様々な条件式を組み合わせることで、グループ化した集合の性質を調査できる。
- 異なる条件の集計処理を SQL1 文で行うことはできない。
- 分からない

■問題6【値の集計・分析】

分析関数の説明で誤っているものを2つ選んで下さい。

- 分析関数では、分析対象のグループを指定できないため、インラインビューなどで事前にグループを作成しておく。
- 集計関数を分析関数として利用する方法と、専用の分析関数を利用する方法がある。
- 分析関数は集約関数と同じように1つのグループに対して1つの結果を戻す。
- 分析関数ではOVER句を使用する。
- 分からない

■問題7【値の比較】

相関副問合せの説明で正しいものを2つ選んで下さい。

- 相関副問合せを使用すると、通常手続き型言語で行う繰り返し処理が実行できる。
- 相関副問合せを使用すると、パフォーマンスの向上を期待できる。
- 同様の処理が分析関数でも行える場合でも、相関副問合せの方がパフォーマンスが良い。
- 相関副問合せと EXISTS 述語は組み合わせて使用することが多い。
- 分からない。

■問題8【値の比較】

EXISTS 述語の説明で誤っているものを1つ選んで下さい。

- EXISTS 述語は、EXISTS に続く副問合せで1行でも戻れば「TRUE」と評価される。
- EXISTS 述語使用時は、副問合せの結果を1行ずつ確認していき、条件に合致する行が1つでもあればそこで処理を終了する。
- EXISTS 述語は、IN 演算子と同様の処理ができる。
- EXISTS 述語に続く副問合せの選択リストには、列名は指定できない。
- 分からない。

■問題9【NULLの取り扱い】

NULLの問題の説明で誤っているものを1つ選んで下さい。

- 計算式に1つでも NULL が含まれていると、結果が NULL となってしまう。
- RDBMS が条件を TRUE、FALSE で扱う、2値論理を採用しているのが NULL の問題の原因。
- 使用する演算子によっては索引が使用されない場合がある。
- ホスト言語で NULL の扱いが標準化されていない。
- 分からない。

■問題10【NULLの取り扱い】

NULLの排除と対応策の説明で誤っているものを1つ選んで下さい。

- NULL は、運用中に発生した段階で対策を採ればよい。
- 列に DEFAULT 句を定義することで NULL の発生を防止できる。
- 使用する演算子によっては、条件評価で NULL が含まれているとレコードが選択されない場合がある。
- 外部結合を実行すると NULL が発生してしまう。
- 分からない。